

株式会社 船本工業 芦別工場

○所在地／本社・〒068-2125 三笠市弥生橋町72番地13 ☎01267-6-8011
 芦別工場・〒075-0161 芦別市西芦別町81番地 ☎0124-25-5643

- 代表取締役社長 船本 統はじめ
- 取締役芦別工場長 佐藤明宏
- 設立年月 1971(昭和46)年2月
- 芦別工場操業開始 2001(平成13)年7月
- 従業員数 約50人(うち芦別工場17人)
- 主要製品 鋼製自在枠、鋼製型枠、トンネル支保工、各種セントルなど



船本工業芦別工場の内部。トンネル工事に欠かせない鉄骨部品などが次々に出来上がる

ささき たつや
 佐々木 達也さん(29)

芦別総合技術高校出身。主に橋梁の床版や耐震補強部品の溶接を担当しています。「確実、丁寧に仕上げなければ、ひびが入ってしまいます。人の命にも関わることなので、気が抜けません。今は先輩の指導を受けながらやっていますが、早く一人前になれるよう、頑張ります」。



トンネルなど大型土木事業の一翼を担う

土木工事に伴う鋼製土留枠や型枠、橋梁の床版などの製造を手掛けている同社は、西芦別町にあった旧三機製作所が手掛けていたトンネル建設工事に使う支保工(鋼製枠)やセントル(コンクリートを打設するための型枠を支える鋼製型枠)を製造する技術を引き継ぐ

かたちで、2001(平成13)年7月に芦別工場の操業を始めました。北海道内で、トンネル支保工製造の技術を持つている企業は、同社を含め3社のみとのことで、産業の発展や住民の生活を支えるインフラ整備事業の一翼を担う貴重な存在です。

このほか同工場では、橋梁の鋼製床版や耐震補強部品など、トンネルやダム、橋梁など土木建築工事に伴う鋼製部品を製造し、着実に業績をあげています。今後見込まれるのは、北海道新幹線の新函館北斗駅から札幌までの延伸工事に伴う受注で、計画全長約212キロのうち、6、7割がトンネルになるとのこと、同社の役割がますます重要になっていきます。

わがまちの企業訪問

◇ 8 ◇

指揮者先頭

指揮者先頭とは、「指揮者は常に皆の先頭に立って行動する必要がある。」という意味で、私が考えた大切にしてほしい言葉です。

No. 31

市民の皆様、明けましておめでとうございます。輝かしい平成27年をご健闘で迎えになったこととお慶びを申し上げます。

さて、12月に執行された衆議院総選挙を経て、国の地方に対する各創生案がいよいよ具体化してくる模様です。

芦別市においても多くの懸案事項がありますが、国の動向に対して情報のアンテナを広げながら、一方では市としても、自主的積極

芦別市においても多くの懸案事項があり、国の動向に対して情報のアンテナを広げながら、一方では市としても、自主的積極

極的な地域づくりを進めていく必要があります。多くの課題を解決することはもちろんですが、平成27年も芦別活性化の目標を掲げながら常に前を向いた市政運営を行っていく決意です。市民の皆様におかれましては、今年も市政運営各般に対しまして格段のご協力とご理解をよろしくお願ひ申し上げます。

(平成26年12月17日・記)

芦別市長 清澤 茂宏



12月6日、児童センターで行われた子どももちつき会には、元気いっぱいの大勢の子どもたちが参加してくれました。